

令和7年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立川永小学校
作成日	令和8年3月6日

1 教育目標

豊かな心と学ぶ意欲をもち、主体的にたくましく生きる子供を育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る 毎日の勉強が分かる(児童90%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しいと感じる(児童90%以上) いじめの解消率(100%) 情報モラル授業を実施する 朝の挨拶ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を整え、感染症予防に留意する 体力の向上を目指し、学習カードを用いて取り組む 休み時間は外遊びを積極的に行う 朝ごはんを食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動や子供の様子がよく伝わった(保護者85%以上) 地域の人材を活用する
意見 重点 目標 に 対 す る	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の確かな定着は今後、中学・高校と学んでいく上でとても重要である。 主体的・対話的に学びあうことで理解が深まると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止、早期発見、道徳教育等は大切であり評価できる。 チーム学校づくりは学年を超えたつながりと交流ができ、良いことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力をつけることや基本的な生活習慣の確立は生涯に影響を与える重要な点である。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼保小の接続や学校間連携は児童のスムーズな環境への適応に繋がり良いと思う。 家庭・地域との連携は教育環境が広がり良いことである。
	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めにスクールプランを全教職員で共通理解する。 各学級ごとに具体的な取り組み方法を立案する。学期ごとに振り返り、次学期の計画を立てる。 学年末には、一年間を振り返り引き継ぎ、共通理解を図る。 			
意見 組 織 状 況 に 対 す る	<ul style="list-style-type: none"> 児童はタブレット等を用いた情報収集能力に長けており授業にも活かされている。 対話式の授業を多く取り入れている。 家庭学習の定着のために学校としてどう進めていくべきなのかを定める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラルやネット社会に潜む危険性を学ぶことは大切である。 児童会活動等の充実、児童が自ら楽しい学校づくりに取り組むことにつながり良いことである。 挨拶できる子とできない子の差があるので、今後も取り組みを続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「早寝、早起き、朝ごはん」は家庭内での基本的な生活習慣であるが、学校で指導してもらうことにより、家庭内でも習慣づけしやすくなると思う。 下校時に用水路を飛び越えたり遠回りをしたりする子を見かける。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なかたちで地域との連携に積極的に取り組んでいる。 学校だより、学級だより、保健だより、HP等を通して学校の情報を定期的に発信したり、授業や行事等を積極的に公開したりすることは保護者や地域にとって安心材料となる。
対 取 組 む 意 義 の 見 切 り の 検 証 結 果 に	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちは主体的に学んでいる。 わかる授業を目指し、工夫がなされている。 授業中にICTの活用が積極的に行われている。 「毎日の勉強がわかる」の回答で「とてもそう思う」と自信を持って言えるような継続的な取り組みを期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内の雰囲気は良い。先生方も明るく、子供たちは素直である。 一人一人を大切にしている学級経営がなされているようで大変ほほえましく感じた。 外部講師を招いての情報モラル学習は適切であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業だけでなく、休憩時間に外遊びを通して、楽しみながら体力づくりをすることは、とても効果的な取り組みだと思う。 学習の定着、体力向上、基本的な生活習慣の確立の三位一体の取り組みが重要と感じる。 校庭や地域の公園で遊ぶ子供たちは、いつも元気で気持ち良い。特に、体を使っての遊びには感心する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年は創立150年であったこともあり多くの行事で地域と関わることができた。例年以上に活発であった。 学校行事に地域の人々が参加できる機会が増えれば、学校・地域共に活性化できると思います。
改 善 年 度 方 法 に 向 け て の 意 見	<ul style="list-style-type: none"> 継続的・計画的に家庭学習・自主学習に取り組む児童を育てることは素晴らしいと思うので期待したい。 ICT等の活用におけるデメリットの面も考慮し、家庭での使用状況等を把握し、対応する必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶運動は今後も積極的に取り組んで意識向上に努めて頂きたい。 地域でボランティア活動をする取り組み等も心の教育の為に役立つのではないかと思う。 人権月間における学校全体での人権教育や道徳教育の取り組みを行ってはどうだろうか。 子供の個性を伸ばす、創造性を培う活動が授業の中で見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康で長生きするためには、食生活も大切だと思うが、大人になってから食習慣を変えるのは苦労するので児童のうちに「食育」等を通じて食に対する意識を高めておくことも良いと思う。 児童の健全育成のため、今後も保健だよりやHPを活用して現状や改善を呼びかけていくことも必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 創立150年に関わる活動の中で子供たちと交流できて良かった。 今年度、新たに取り入れた企画や地域と結ばれた縁を来年度も継続していけたら良いと思う。

3 その他のご意見

- 今年度から校長・教頭共に新たに赴任してこられたにも関わらず、創立150年行事や地域との連携に取り組まれている。
- 学級経営の柱の一つとして担任の個性に応じた「褒める活動」を取り入れることで、「褒められた」という思いが確かな学力向上や豊かな心の育成につながるとともに、保護者からの信頼につながっていくように思う。
- 学力、体力、モラルの向上に向け授業改善や指導力向上に取り組み、県学力調査全てで県平均を上回ることを希望します。
- 子供たちから憧られる先生を一人でも多く増やして欲しい。
- なわとびカードや漢字検定等、6年間積み上げて取り組むような課題に挑戦するのも良いのではないか。
- 進んで学習や読書をする態度の育成が望まれる。